

久喜市のサクラがピンチ!!

令和2年10月、本市内で初めてクビアカツヤカミキリの発生が確認されました。この虫は、幼虫がサクラなどに食入・加害することで、樹木を衰弱・枯死させる特定外来生物です。

今後、市内へ被害拡大のおそれがあることから、駆除等について市民の皆さんのご協力をお願いします。

問 環境課環境衛生係 (☎ 内線369)

クビアカツヤカミキリの特徴など



メス

オス

体長	約 2.5 ～ 4cm (オスは小さな個体もある)
特徴	全体的に光沢のある黒色で、胸部(クビ)が赤色になっている
生態	幼虫は樹木内で2～3年かけて成長し、その後、6～8月に成虫となって樹木の外に現れる
被害樹	サクラ、ウメ、モモなど、バラ科の樹木

フラス

幼虫は、樹木の外にフラス(木くずと糞が混ざったもの)を大量に排出します。基本的に棒状(かりんとう状)で、樹木の下や枝分かれした幹の上などに排出します。色は、茶色または黄褐色で、比較的固いものから簡単に崩れるものまでさまざまです。



写真提供：埼玉県環境科学国際センター

成虫の脱出孔

木の中で羽化した成虫が脱出した穴です。1本の樹木に複数の脱出孔がある場合があります。根元にフラスがある場合は、根元から1.5mぐらいの高さにある場合が多いです。被害が進行すると、高所に移動します。



写真提供：埼玉県環境科学国際センター

幼虫や成虫の駆除方法は…

幼虫は、樹木に入り込んでいることから、排出孔に詰まったフラスを取り除き、針金を挿入して刺殺する、または薬剤を注入して駆除してください。

成虫は、見つけ次第、靴で踏みつぶすなどの物理的方法、または市販の殺虫剤等を用いて捕殺してください。

また、成虫の活動時期前後(5～8月)に、ネット(目合4mm以下の防鳥ネットなど)を被害木に巻き付けることで成虫の拡散を防止することができます。設置後は定期的な見回りを行い、羽化期が終了する9月以降は取り外してください。

クビアカツヤカミキリを発見したら…

クビアカツヤカミキリは「特定外来生物」に指定されていることから、「持ち運ぶ」「飼う」「別の場所に放す」ことなどは法律により禁止されています。

成虫や樹体から排出されたフラスを発見した場合は、捕殺等をして、埼玉県東部環境管理事務所(☎ 34-4011)および市環境課へご連絡ください。



写真提供：埼玉県環境科学国際センター